

▶水島爾保布画 昔の長岡十二ヶ月の中 六月 蔵王大祭囃屋台（中央図書館所蔵）
十四日の蔵王大祭宵祭に長岡十八ヶ町から繰り出される屋台は全町内を引き回しました。図中の帆船形は「神田の大船屋台」と称し、その囃子は神田囃子といつて趣があり、名物のひとつとして現存します（出典：ながおかネット・ミュージアム）。



市民に開かれた議会を目指して

市議会では、市民目線に立った議会運営を図ることで、市民に開かれた議会、そして議会の更なる活性化の推進に努めています。

11月26日（日曜日）にアオーレ長岡において、ながおか・若者・しごと機構の主催で小・中学生向けの職業体験イベント「長岡しごと体験ランド2017」が開催されました。

このイベントでは、消防士やパティシエなどのしごと体験ゾーン、起業体験ゾーン、学び紹介ゾーンなどのほか、議場を一般開放し、議場見学会を開催しました。



議場見学会の様子



市議会議員の仕事や役割について説明を行う丸山勝総議長

議場見学会では、市議会議員の仕事や役割について、丸山勝総議長が直接解説する場面もあり、延べ約280人の方に参加していただきました。

当日参加した小・中学生は、普段は入る機会のない議場の雰囲気を経験しながら、議会の仕事について学びました。

12月定例会

一般会計補正予算を可決

12月定例会は12月12日から25日までの14日間の会期で行われ、平成29年度一般会計補正予算などを含む市長提出議案等60件を審議しました。議案の審議結果については、4ページの会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。



提案理由の説明を行う磯田市長

補正予算の概要

- 市立劇場整備事業費（継続費の補正） 3、426万4千円
- 上川西コミュニティセンター建設事業費（用地取得費） 2、538万5千円
- 企業立地促進補助金 1、000万円
- 左岸バイパス南北延伸道路整備事業費 1億3、200万円
- 昭和団地1号棟耐震・大規模改修事業費（平成29～30年度継続事業の年割額の変更） 2、284万円

ほか

〈目次〉	
補正予算の概要など	1
一般質問	2
会派別議案等賛否一覧表	4
行政視察報告	5
常任委員会の所管に関する質問	6
市議会の活動状況	6

12月定例会

13人が一般質問

主な質問と答弁の要旨を掲載します



五十嵐 良一 議員
(1期・民成クラブ)

エネルギー構造高度化・転換促進事業補助金について

問 補助金の目的・内容と本市の対応について伺う。また、本市の新しいエネルギー政策の取り組みについて伺う。

答 この補助金は、原発依存度低減のための再生可能エネルギー等を中心とした地域振興の取り組みに対する原立自治体やその周辺地域を対象とした補助金であると認識している。エネルギー教育などのソフト事業のほか技術開発や施設整備などに対し補助していることから、今後必要に応じて活用を検討していきたい。また、本市の新しいエネルギー政策として、これまでも全国初の下水



永井 亮一 議員
(3期・しん長岡クラブ)

観光振興施策について

問 国内外に向け、長岡の湯治文化を「TOGI」というロゴで情報発信し、観光戦略プランの中に取り入れるべきと考えるが、本市の考えを伺う。

答 本市には、蓬平や寺泊、川口といった温泉地のほか、宿泊が可能な温泉施設が多数ある。湯治文化を情報発信するという提案は非常に興味深いものであるが、外国人観光客から長岡を温泉地として選んでもらうための方策を、温泉旅館などの関係者と具体的に話し合っていかなければならないと思っている。さらに、長岡に足を運んでもらい、少しでも滞在時間を延ばして

もらうために、温泉のほか日本酒や錦鯉、棚田の風景など、長岡の観光資源を最大限に生かした取り組みについても、併せて進めていきたいと考えている。

高齢者の資産運用について

問 高齢者が資産運用を学ぶセミナーを行政が開催してはどうか。

答 老後の生活のため、個人の大切な資産を守ることは、高齢者にとって大変重要なことであると考えている。銀行や証券会社などで行われている金融商品の仕組みや資産運用について学ぶセミナーなど、行政以外でも様々な機会が提供されている。本市においても高齢者に限定したものではないが、消費生活センターで金融トラブルの防止や、悪質な投資勧誘の被害に遭わないための講座などを実施しているところである。



大竹 雅春 議員
(1期・市民クラブ)

スポーツ振興による地域活性化施策について

問 スポーツを活用した地域活性化の具体的な事例を伺う。

答 スポーツの振興は、市民の健康、体力づくりに限らず、交流人口の拡大、経済や地域の活性化など、多面的な効果が得られる施策であり、今後も着実に推進していきたいと考えている。具体的な事例としては、3年前からトレイルランで小国を元気にする会が小国地域で活発に活動しているほか、ながおか縄文の丘マラソンなどのランニングイベントや越後長岡チャレンジサイクリングといった、地域が主体となってスポーツを活用した地域活性化に

取り組んでいる事例が多くある。本市としては、こうした取り組みを今後も支援していきたいと考えている。

市内の大学と地域の協力、連携について

問 大学生や専門学校生、高校生と小学生との交流の効果と交流拡大の必要性について伺う。

答 現在、子育ての駅を中心に専門学校生や高校生など、学生がボランティア活動に携わり子どもたちとの交流を行っている。交流の効果として、子どもたちは学生との交流を大変喜んで、いきいきと様々な活動を行っており、学生にとっても子どもと接する体験を通じて、自分の将来をよく考えるきっかけにもなっている。こうしたことから、これらの交流は子ども、学生ともに成長につながる相乗効果があるものと考えられており、今後も子どもと学生との交流を広げていきたい。



服部 耕一 議員
(1期・共産党市議団)

生活困窮者が生活保護の相談や申請しやすい環境づくり、また、制度理解の啓発が必要と思うが、本市の考えを伺う。

問 生活保護の相談や申請について、アオーレ長岡の福祉窓口相談員を常時3人配置して対応に当たっているほか、支所地域を含め、相談員が随時訪問して相談に応じている。また、制度理解の啓発のためのしおりを福祉窓口にも設置するとともに、ホームページでも広く周知を図っている。このしおりについては、平成30年4月の大幅な制度改正に合わせて見直しを予定している。その際、見直しを躊躇することなく相談や申請ができるよう、また、堅苦

しい印象にならないようしおりにしたいと考えている。

就学援助制度について

問 国の要保護世帯への就学援助の拡充に伴い、本市も要保護世帯に対する制度の更なる拡充を行うべきと考えるがどうか。

答 国では29年3月に新入学児童・生徒の学用品費について前倒し支給ができる旨を全国に通知した。本市でもこの通知を受け入学前の支給について検討を続けてきており、30年度から実施できる部分について、現在準備を進めているところである。また、クラブ活動費を支給費目に追加することについては、種目や学校間による保護者の負担の差が大きいと、支給額の基準を設けることが難しいなどの課題がある。今後、学校現場の実態把握や他自治体の情報収集をしながら、一層適切な就学援助となるよう検討していきたい。



桑原 望 議員
(4期・無所属)

不登校について

問 国が不登校政策として、児童・生徒に休養の必要性と学校以外の場の重要性を認めたことを受け、本市の基本的な考え方を伺う。

答 社会の複雑化・多様化によって、児童・生徒を取り巻く環境は、様々な影響を受けており、不登校はどの子どもにも起こり得る時代になっている。不登校はその原因がはっきりしなかったり、学校に行くこと自体に苦痛を感じたりするケースもあることから、無理に学校に行かせるようなことはせず、学校、家庭、社会がしっかりと児童・生徒に寄り添うことが必要と考える。そのため、まずは安心できる居

場所づくりを第一に考え、本人の希望を尊重したうえで、教育センターや適応指導教室など様々な関係機関と連携し、社会的自立への支援を行うこととしている。悩みを抱えている保護者に寄り添って支援する必要があるが、本市の考えを伺う。

答 大切なのは学校が保護者の思いを受け止め、悩みに寄り添うことだと考えている。本市では、学校以外で過ごせる場の情報提供、スクールカウンセラー、心ふれあい相談員による対応のほか、教育センターの相談室で悩みを抱えている保護者に継続的な相談を実施している。さらに、不登校に悩む保護者を対象に臨床心理士によるグループカウンセリングを2か月に1回開催し、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や、専門的な見地からのアドバイスを行っている。

今後、不登校に悩む保護者に寄り添いながら、支援を進めていきたい。

ホームページで議会情報を発信中!

本会議と常任委員会は、市ホームページで生中継・録画中継しています(ケーブルテレビの再放送は午後7時から)。なお、議会議中継はスマートフォン、タブレットなどでもご覧いただけます。

長岡市議会 検索

議会の日程や議案の概要、会議録なども載っていますので、ぜひアクセスしてください。

※1 TOGI: トーじと読む。日本語の湯治「TOJI」に長岡の観光資源である山古志の闘牛の「ギウ」、寺泊の魚の「ギョ」のアルファベットの頭文字「G」を組み合わせた造語。議員が考えたオリジナルの言葉。



笠井 則雄 議員 (5期・共産党市議団)

市政の諸課題について

問 宮内第二、大島第二児童クラブの建設状況と受け入れ体制を伺う。また、児童厚生員の待遇改善及び研修の状況を伺う。

答 本市では、国の基準変更に合わせて、平成27年度から放課後児童クラブに入会できる対象を小学6年生まで引き上げ、必要な家庭に対応している。

宮内第二、大島第二児童クラブは、29年度中に工事を完了させ、30年度からの供用開始を予定しているとともに、定員をそれぞれ20人ずつ増やし、利用者の増加に対応していく。

また、児童厚生員の待遇改善については、月額を約1万円増額するなどの賃金改定を行い、研修に



諸橋 虎雄 議員 (4期・共産党市議団)

介護保険法等の改正と長岡市の第7期介護保険事業計画について

問 介護の人材確保と処遇改善に対する本市の取り組みや考えを伺う。

答 介護の人材不足は本市でも顕著であり、事業者も非常に苦慮している。市内の実態を把握するため、全高等学校での進路指導状況などのヒアリングや社会福祉法人の運営状況等に関する調査を実施した結果、給与実態などから、今後の対策に活用しながら介護職の魅力発信に努めていく。

また、昨年度から国家試験の受験に係る研修受講料に対し補助金を交付するほか、市内の社会福祉

については、市独自の研修のほか、国の規定に基づいた研修も受講している。今後も資質向上のための研修の充実を努めていきたい。

障害者の法定雇用率引き上げに伴う対応策について

問 障害者の法定雇用率の引き上げに伴う障害者雇用推進の取り組みや今後の方針を伺う。

答 障害を抱える労働者等の割合が増加したことを踏まえ、30年度から民間企業、国・地方公共団体等の法定雇用率がそれぞれ0.2ポイント引き上げとなる。また、本市では障害者多数雇用事業者からの物品等調達制度を実施しており、昨年度は登録7事業者から42件、約2億9,300万円の調達実績があった。

今後も関係機関と連携しながら障害者の雇用促進、職場定着に向けた取り組みを引き続き積極的に進めていきたい。

その他の質問

●会計年度任用職員について
法人等と定期的に研究の場を設けて対策の検討や情報交換を行っている。

今後も、介護職員の処遇改善を国に対し要望するなど、必要な人材が確保できるよう引き続き関係者とともに取り組んでいきたいと考えている。

文化センターや地域会館等の使用料について

問 文化センター等でコミュニティ活動を行う場合、使用料を無料化すべきと思うがどうか。

答 施設の使用料は、施設ごとの性質やサービスの内容に応じて、それぞれ定めており、減免規定も設けている。なお、栃尾地域では30年4月からコミュニティ推進組織が開始するが、施設設置までにコミュニティ活動の目的で栃尾文化センター等を利用する場合は減免規定に基づき無料とし、長岡地域のコミュニティセンターと同じような取り扱いにしたいと考えている。



高見 美加 議員 (2期・市民クラブ)

市道の包括的管理業務委託について

問 今年度から川口地域で試行的に実施されている市道の包括的管理業務委託の導入目的を伺う。

答 包括的管理業務委託は、従来、市が個別に発注していた路面や側溝の補修、照明灯の修理などの業務を、民間事業者が年間を通して一括して委託するもので、導入の目的は2つある。1点目は、地域に精通した地元業者のノウハウを活用した機動的な対応、2点目はインフラ整備や管理の重要な担い手である地元建設業者の収益を担保することで、安定した維持管理体制の確保を目的としている。

この包括的管理業務委託を活用することによって、本市の課題である除雪体制の維持と技術の伝承が可能になると考えている。

全面的な包括的管理業務委託は、土木行政の大きな転換だと認識している。今後の展開について本市の考えを伺う。

全面的な包括的管理業務委託

問 全面的な包括的管理業務委託は、民間の技術や能力を最大限に活用しながら社会資本を管理するうえで、極めて有効な手段と認識している。

平成30年度は川口地域で全面的な包括的管理業務委託を実施するとともに、業者側の受入れ体制を整った三島・小国地域においても先行的に非降雪期の道路パトロール業務を委託する予定である。その後、当面の間は川口・三島・小国地域で実施し、支所地域での効果や課題の検証を十分に行うとともに、業者側の受け入れ体制の状況も見ながら他の地域への拡大を検討していきたいと考えている。



中村 耕一 議員 (3期・長岡市公明党)

水道事業の取り組みについて

問 老朽化対策・耐震化費用の増大と水需要の減少などが懸念される中、今後の水道料金のあり方について本市の考えを伺う。

答 持続可能な水道経営を行うためには、長期的な見通しのもとに、収支のバランスがとれていることが必要であると考えている。全国的にも料金収入が減少していく中、国においても水道施設の老朽化対策や耐震化を進めるため、中・長期的な更新費用の見通しの把握に基づいた適正な水道料金の設定を求めているところである。

今後は、アセットマネジメントによる中・長期的な見通しのもと、



藤井 達徳 議員 (4期・長岡市公明党)

若年者の自殺対策について

問 若者の潜在的な悩みを早期発見するため、SNSを活用した相談窓口の設置が必要と考えるが、本市の考えを伺う。

答 本市での自殺対策に対する相談窓口は、電話や窓口での対面相談が中心となっている。しかし、若年者は従来の電話や対面相談よりも、SNS等でのつながりを選択する傾向があることから、SNSなどICTを活用した相談窓口は、若年者の自殺対策としてより有効な手段であると捉えている。

本市における若年者の自殺は、過去5年間の累計で19歳以下が8人、20歳から39歳では71人となっている。

しており、自殺は39歳以下の若年者の死因の第1位となっている。こうしたことから、今後はSNSの活用も含め、誰もが相談しやすい窓口の設置を検討していきたいと考えている。

障害者福祉の充実について

問 ヘルプカード・ヘルプマークに対する本市の認識を伺う。また、本市でもこれらを作成し、活用と普及に取り組みしてほしいと思うがどうか。

答 ヘルプカード・ヘルプマークは障害者本人の安心・安全を確保するため、重要な役割を担うものと認識している。ヘルプカード・ヘルプマークの普及への取り組みについては、障害者に係る様々なマークを周知していく中で、普及を図っていききたいと考えている。

また、本市におけるヘルプカード・ヘルプマークの作成については、その配布の範囲や方法も含めて今後、検討していきたい。



広井 晃 議員 (2期・市民クラブ)

開府400年を迎えたまちづくりについて

問 開府400年という節目の年に、歴史的資料や所蔵品等の公開の機会を設けることが必要と考えるが、本市の考えを伺う。

答 本市では、平成30年度に中央図書館所蔵の歴代藩主の書画や長岡城下中行事図絵など、江戸時代の長岡に関する貴重な所蔵資料の公開を予定している。また、科学博物館では牧野家伝来の刀剣などの特別展を予定しており、二之丸跡地にあたるアオーレ長岡では長岡城跡地で発掘された出土品を展示したいと考えている。30年は開府400年の節目の年であり、改めて郷土の歴史や文化、

伝統などを見つめ直し、次世代につなげていくための取り組みを進めていきたいと考えている。

市民が長岡への郷土愛を醸成する取り組みについて

問 市民が長岡への郷土愛を醸成する取り組みについて、本市の考えを伺う。

答 本市では、長岡の地理や歴史、偉人等を詳しく紹介する冊子を小学5年生全員に配付し、ふるさとへの愛着や誇りを深めるきっかけとしている。各学校では各地域に伝わる伝統文化を、与板小学校では直江兼続公とお船の方の劇を行うなど、学校裁量予算を活用した取り組みを行っている。

また、開府400年記念事業として、地域の偉人の業績やまちづくりの取り組みなどを解説する、地域をつなぐリレー講演会を29年10月より開催している。来年度もこのリレー講演会の実施や地域の伝統文化を体験するイベントの開催などを通じて、ふるさと長岡への郷土愛の醸成に努めていく。

*2 ヘルプカード・ヘルプマーク：ヘルプカードとは、障害者などが支援を必要とする時に周囲に提示するカード。ヘルプマークとは、内部障害や難病を抱える人、妊娠初期の人など、外見からは分かりづらいが援助や配慮を必要とする人が身に着けることで周囲に配慮を必要としていることを知らせるもの。
*3 アセットマネジメント：資産の管理・運用。保有財産を効率よく管理・運用する方策をいう。



関 貴志 議員
(5期・無所属)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

問 柏崎刈羽原発は新規規制基準に事実上の審査合格となり、新しい局面を迎えた。再稼働問題について、これまで2回の質問を行ったが、市長の公約と現在の市の取り組み状況とが整合しないと感じているが、市民の不安が解消されない場合に再稼働を止める意思が市長にはあるのか伺う。

答 基本的には国が責任をもって進めるべきであり、市民の不安が解消されない限り原発は再稼働すべきではないという姿勢を貫いていくことを公約に掲げた。今も同じ考えであり、この思いは変わっていない。

市民の不安を解消せずに再稼働へ至ることのないよう市長として全力を尽くしていきたい。仮に、市民の不安が解消されない場合は、再稼働を止める思いはある。

問 現時点では市は立地自治体並みの安全協定締結を求めているとのことだが、今後、どのような手段で再稼働を止めようと考えているのか伺う。

柏崎刈羽原発は国による適合審査が続いており、県知事は福島第一原子力発電所の事故に関する三つの検証が徹底的にされない限り再稼働の議論は始められず、その検証には数年かかると明言している。また、県の広域避難計画も策定されていないことから、現時点で手続きを含めて再稼働の議論をする段階にはないと考えている。



細井 良雄 議員
(3期・共産党市議団)

平成29年度の豪雨災害について

問 本年の異常な降雨、河川の急激な水位変化による被害の状況をどのように分析しているか伺う。

答 平成29年4月からの豪雨により、市内4か所に設置されたアメダスの平均月間雨量が512ミリを超え、過去10年間の平均値の約2倍を観測した。さらに、10月の台風21号では、信濃川上流域で200ミリを超える降雨が観測され、この影響によって、長生橋が一時全面通行止めとなったほか、河川敷が冠水する被害が発生した。豪雨の際は市内や周辺地域を警戒する傾向にあるが、信濃川上流

域の降雨量や水位についても注視していくことが重要である。降雨の状況により河川の状況も異なってくるため、速やかな状況把握と迅速な対応が重要であると認識している。

渋海川の豪雨被害の状況と改修計画の早期推進について

問 渋海川の改修計画の進捗状況と、今後の見通しについて伺う。

答 渋海川は県が管理する一級河川で、昭和54年から県が改修事業に着手している。県が策定した渋海川圏域河川整備計画に基づき下流から整備を進め、これまでに永盛橋下流の整備が完了している。河川整備は下流から進めていくのが原則であり、下流の河川整備が進めば上流の水位低下も見込めるため、浸水対策に一定の効果があると考えている。流域の安全性向上には渋海川の早急な整備が必要となることから、県に対し事業の促進を要望していきたい。

会派別議案等賛否一覧表

12月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等	会派名 ()は所属議員数	市民クラブ	しん長岡クラブ	共産党市議団	民成クラブ	長岡市公明党	無所属A	無所属B	議決結果
		(16)	(5)	(4)	(3)	(3)	(3)		
専決処分 平成29年度一般会計補正予算 (9月28日専決処分) 平成29年度一般会計補正予算 (11月13日専決処分)		○	○	○	○	○	○	○	承認
補正予算 平成29年度一般会計 (12月12日議決分) 平成29年度一般会計 (12月25日議決分) ほか2件		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提出議案等	制定 空家等の適切な管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	一部改正 印鑑条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	市営食肉センター条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市営住宅条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	町(字)の区域及び名称の変更 5件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人事	市道路線の認定及び変更	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	契約の締結(堤岡中学校) ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	財産の処分(長岡オフィス・アルカディア分譲事業用地)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	指定管理者の指定(刈谷田荘) ほか37件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
監査委員の選任、固定資産評価審査委員会委員の選任、 人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	同意

各種行政委員の選任・推薦に同意

12月25日の本会議最終日において、次の方を選任・推薦することに同意しました。

- 監査委員
篠田 弘成 氏(新任)
- 固定資産評価審査委員会委員
稲庭 達夫 氏(再任)
川上由紀子 氏(新任)
和田 三幸 氏(新任)
- 人権擁護委員
星 博 氏(新任)

会派別議員名簿 (12月25日現在)

会派	議員名
市民クラブ	丸山 広司
	高見 美加
	広井 晃
	田中 茂樹
	大竹 雅春
	松井 一男
	関 正史
	高野 正義
しん長岡クラブ	山田 省吾
	関 充夫
	水科 三郎
共産党市議団	笠井 則雄
	服部 耕一
民成クラブ	加藤 一康
	小坂井和夫
長岡市公明党	中村 耕一
	藤井 達徳
無所属	A 桑原 望
	B 関 貴志
	C 丸山 勝総(議長)

658人が本市を視察

長岡市議会では、全国の議会関係者から本市の事業や取り組みについての視察を受け入れています。平成29年は、全国の86団体から658人の方が視察に来られました。

<主な視察項目>

- 1 アオーレ長岡
- 2 防災体制の強化
- 3 生ごみバイオガス発電センター
- 4 子育ての駅
- 5 タニタカフェ、多世代健康まちづくり
- 6 復旧・復興への取り組み

3月定例会を傍聴しませんか？

3月定例会は、平成30年度当初予算や条例など、市の重要な議案が審議されます。3月定例会の日程は2月上旬に決定します。ぜひ傍聴にお越しください。

本会議	・開会 午後1時 ・受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて ・定員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人
常任委員会	・開会 午前10時 ・受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて ・定員 12人



親子傍聴席

※4 永盛橋：渋海川に架かる橋で、信濃川と合流する下山地区にある。

行政視察報告

議会の政策立案機能を充実、強化し、今後の市政に反映させるため、長岡市議会では毎年、先進都市の行政視察を行っています。今号では、これまでに実施した四つの常任委員会及び議会活性化特別委員会の視察報告を掲載します。視察報告の全文は、市議会ホームページでご覧いただけます。

総務委員会

平成29年10月18日～20日

<調査項目>

- 兵庫県伊丹市「公共施設マネジメント」
- 愛知県名古屋市「名古屋開府400年記念事業」
- 静岡県掛川市「掛川城指定管理」

伊丹市では、平成27年度に公共施設再配置基本計画を策定後、兵庫県内で初めて「公共施設マネジメント基本条例」を制定しました。総合管理計画の継続性を担保するためには法的根拠が必須であることから、条例化に進んでいったとのことでした。条例制定後は、施設の集約・複合化を図り、市民の理解を得るため、地域住民で構成されているまちづくり協議会の中で事業計画について熟議し、出前講座やマ

ング・パンフレットなどで広く周知を図っています。本市でも平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定し、今後のあり方について検討していることから、大変参考になる事例でした。

名古屋市の開府400年記念事業は、メインテーマを「未来の子どもたちへ」と定め、小学生から高校生まで計15人で構成する子ども実行委員会を中心となって企画した「なごや☆子どもCity2010」は、子どもたちの参画が進められたことにより大成功をおさめ、その後も毎年開催されているとのことでした。本市も、近年は子どもたちの参画により成功しているイベントが多いと感じており、大変参考になる事例でした。

このほか、掛川市の掛川城指定管理について視察しました。(報告：大竹 雅春)



名古屋市役所

文教福祉委員会

平成29年10月18日～20日

<調査項目>

- 兵庫県姫路市「小中一貫教育」
- 広島県呉市「データヘルス計画に基づく保健事業」
- 福岡県大牟田市「認知症ケアコミュニティ推進事業」

姫路市では、平成23年度から市内35の中学校ブロックで小中一貫教育を実施しています。学力の向上と人間関係力の育成を目標とし、小中共通の目標設定や9年間の一貫指導、小中教職員の協働実践を教育活動の柱としています。これらの効果として、児童や生徒の問題行動の件数が40%近く減少したほか、アンケート調査において自己肯定感の高い児童や生徒の割合も伸びているようです。さらに、生徒指導

や授業のノウハウなどの情報交換が活発化し、教員同士の連携と協働も向上しており、この取り組みは大いに参考になると感じました。

呉市では、レセプトデータや検診データを基に、特定検診や医療の受診の勧奨、重症化予防プログラムの実施、ジェネリック医薬品の使用促進通知などを行ってきました。これまで通知を受けた方の80%以上が現在までにジェネリック医薬品へ切り替えを行い、平成27年度実績では約2億3,800万円の医療費が削減されたそうです。これらの取り組みが、医療費の削減や健康寿命の延伸に大きな成果をあげていると感じました。

このほか、大牟田市の認知症ケアコミュニティ推進事業について視察しました。(報告：田中 茂樹)



大牟田市役所

産業市民委員会

平成29年10月11日～13日

<調査項目>

- 北海道帯広市「DMOを活用した地域ブランド創出プロジェクト」
- 北海道旭川市「旭川市東部まちづくりセンター」
- 北海道札幌市「北海道さっぽろ『食と観光』情報館・キタベル」

帯広市では、DMOを事業推進主体として、アウトドアフィールドのブランド化を図っています。現在、DMO候補法人である株式会社ディスティネーション十勝では、十勝地域をアウトドアのメッカとして世界に発信するプラットフォームの実現や体験型観光の充実を目指しています。この民間活力を生かした観光戦略は、地方創生の観点から極めて重要なものであり、官民連携の一手法として大変参考になるものでした。

旭川市東部まちづくりセンターは、まちづくりセンター機能と、消防署の出張所機能及び地域包括支援センター機能が複合化した施設で、住民の利便性の向上に加え、単独で整備する場合と比較して整備費を抑制する狙いがあります。さらに、本施設は災害時における一時避難所としての利用も想定されており、地域の防災能力の向上と環境への配慮も目的としています。本市においても、今後の地域コミュニティの拠点のあり方や、複数の施設の一体的整備による整備費の抑制手法等の観点から、大変参考になるものでした。

このほか、札幌市の北海道さっぽろ「食と観光」情報館・キタベルについて視察しました。(報告：深見 太郎)



旭川市東部まちづくりセンター

建設委員会

平成29年10月11日～13日

<調査項目>

- 富山県射水市「空き家対策支援事業(除却支援)」
- 大阪府岸和田市「耐震バンク事業」※5
- 愛知県東海市「浸水対策事業・東海市100mm/h安心プラン」

射水市では、空き家の除却や耐震補強による有効活用が必要だという市民ニーズの高まりから、2回の実態調査を経て、「射水市空き家等対策計画」を策定しました。損傷が激しく倒壊した場合の周囲への影響が大きい物件などの要件を満たした危険空き家に対し、解体工事費の2分の1(上限50万円)、解体後の跡地に新築する場合には新築工事費の2分の1(上限60万円)を補助し成果をあげています。

この事例を参考としながら、本市の状況と照らし合わせて慎重に検討を重ねていきたいと感じました。

岸和田市では、昭和56年以前の建物に対する耐震化を促進するため、平成22年2月に全国初の「耐震バンク登録制度」を開始しました。登録者に対して耐震化の啓発を定期的に行っているほか、耐震診断や耐震改修などの支援を優先的に行っています。また、必要に応じて個別訪問を行うなど、きめ細やかな対応を続けてきた結果、耐震診断・耐震改修の戸数は伸びてきているとのことでした。この取り組み手法を共有し、今後の耐震化促進を考えていきたいと感じました。

このほか、東海市の浸水対策事業・東海市100mm/h安心プランについて視察しました。(報告：荒木 法子)



射水市役所

議会活性化特別委員会 平成29年11月28日～30日

<調査項目>

- 香川県東かがわ市「タブレット端末の活用」
- 京都府亀岡市「議会基本条例」
- 大阪府枚方市「通年会期制」

東かがわ市では、平成28年度から議会・執行部ともタブレット端末を導入しました。これにより、文書検索や資料整理が容易となり、スムーズな議会運営、コストの低減、事務作業の軽減、連絡体制の強化と簡素化にもつながっています。セキュリティについては慎重に行う必要がありますが、不安のある部分に制限をかけ、理解が進んだ時点で解除することがタブレット端末の活用の推進につながっているよ

うです。本市でもタブレット端末の導入に向けて議論が進む中、大変有意義な視察となりました。

亀岡市では、市民に一層開かれた議会を目指し平成22年10月に議会基本条例を制定しましたが、その他にも議員定数の削減など、様々な議会改革を行ってきました。また、平成22年11月から開催している議会報告会では、テーマ別意見交換会を併用するなど、市民参加の向上にも努めていました。さらに、議会基本条例については、議会運営委員会が2年ごとに条例の検証・評価を行っており、その結果を議長に答申し、条例の改正を行うなど、不断の検証を行うことの重要性を感じた視察でした。

このほか、枚方市の通年会期制について視察しました。(報告：池田 和幸)



東かがわ市役所

※5 100mm/h安心プラン：短時間の局地的なゲリラ豪雨などにより多発している浸水被害対策として、局地的な大雨に対しても住民が安心して暮らせるよう、河川と下水道のハード整備や住民の避難行動を支援するためのソフト対策により、住宅地や市街地の浸水被害等の軽減を図るために実施する取り組みを定めた計画をいい、国土交通省が平成25年度に創設した登録制度のこと。

12月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録（2月下旬発行予定）、インターネット録画中継をご覧ください。

総務委員会

- 柏崎刈羽原子力発電所との安全協定を立地自治体並みにすることの必要性
- 中越大震災復興基金を活用した持続性ある地域復興支援員の事業展開と基金終了後の展望
- 不審船発見時における市の対策と市民の対応方法
- 災害時の情報伝達手段としての防災行政無線の整備に対する考え
- 「事務事業の総点検」の目的と結果に対する評価
- 救急体制及び医療機関の受け入れ体制の現状と課題
- 固定資産税の税収に影響を及ぼす所有者不明の土地の現状
- 平成28年度実質単年度収支が赤字となった原因

など

文教福祉委員会

- 民生委員の活動状況及び課題と取り組み
- 国指定民俗文化財「牛の角突き」の活用・発信の推進
- 教職員の記事の着用とサービスの宣誓に対する見解
- 人工透析が必要な方を特別養護老人ホームから医療機関へ送迎するためのデマンドタクシー等の活用や施設の人員を増やすことの検討
- 平成30年度に向けた長岡の火焰土器のPRとその取り組み
- セーフティーネットとしての役割を担う公立保育園を残しながら、施設の老朽化の実態等を踏まえた今後の民営化の方向性
- 新入学児童・生徒への就学援助費の前倒し支給の検討

など

産業市民委員会

- 電気自動車の普及促進と地球温暖化防止のため、市有施設に充電設備を設置することの検討
- 国の就労支援制度の拡充を受け、地域若者サポートステーション等を活用した支援を行うことの検討
- 中山間地の農業における新たな担い手の確保と育成のための支援策
- 地域活性化の取り組みとしてのマリンスポーツの振興に対する考え
- 新潟空港へ格安航空会社が乗り入れすることに伴う率直な感想とインバウンド施策の推進に対する取り組みの方向性
- 市が所有するヨットを活用した事業の現状と今後の方向性

など

建設委員会

- 空き家の除却支援制度に対する本市の考え
- 大河津分水路の改修事業により発生する掘削土砂の利用方法
- フェニックス大橋東詰の渋滞緩和や周辺町内へのアクセス改善に向けた市の方針と、県との協議の進捗状況
- 昭和56年以前の木造住宅の耐震化に対する今後の対策

など

市議会の活動状況

10月27日～31日 米国・フォートワース市を訪問

長岡市の公式訪問団の一員として丸山勝総議長を含め6人の議員が米国・フォートワース市を訪問しました。本市では、フォートワース市との姉妹都市締結以来、長年にわたり青少年の教育交流を中心に積極的な交流を続けてきました。平成29年



意見交換会に参加した両市の議員

度に姉妹都市締結30周年を迎えたことから、これからの両市の更なる発展と、友好の絆を深めるため、記念事業が行われました。

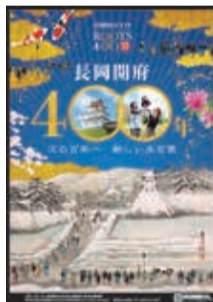
このほか、長岡市・フォートワース市両議会議員による意見交換会も開催され、今後も交流を推進することを相互に確認するなど、大変有意義な訪問となりました。

開府400年記念事業などについての議員協議会を開催

11月から1月にかけて、議員協議会を計3回開催しました。

11月27日は、10月27日から31日にかけて訪問した、米国・フォートワース市との姉妹都市締結30周年記念事業に関する報告が行われました。

12月14日は、長岡シティプロモーション戦略（案）、長岡市観光戦略プラン（案）、道の駅「花火館（仮称）」の整備、「醸造のまち・撰田屋」の整備の4項目について、1月22日は、開府400年記念事業、東山一帯の課題と対応策、栃尾支所周辺の公共施設再編の方向性の3項目について市から説明があり、これらの事項に関する基本方針や現状と今後の方向性などが示され、質疑や意見交換を行いました。



長岡開府400年イメージポスター

12月6日～10日 米国・ホノルル市を訪問

ホノルル市で開催された真珠湾追悼式典に参加するため、長岡市の公式訪問団の一員として丸山勝総議長が米国・ホノルル市を訪問しました。平成19年から平和交流を進めてきた長岡市は、日本で唯一招待された自治体で、磯田市長や市内の学生などが出席しました。

また、ホノルル市議会を訪問し、両市議会の相互理解と友好関係の発展にこれからも努めていくことを再確認することができ、大変有意義な訪問となりました。



ホノルル市議会のロン・メノア議長（左から2人目）と丸山勝総議長（中央）

11月			
6日	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会市内現地視察		
7日	議会運営委員会		
13日	克雪・危機管理・防災対策特別委員会		
27日	議員協議会 議会活性化特別委員会		
28～30日	議会活性化特別委員会行政視察		
12月			
6日	議会運営委員会		
12月定例会（14日間）	12日	議会運営委員会 本会議（招集日） 産業市民委員会	
	13日	本会議	
	14日	議員協議会 本会議	
	18日	建設委員会	
	19日	産業市民委員会	
	20日	文教福祉委員会 克雪・危機管理・防災対策特別委員協議会	
	21日	総務委員会 まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	
		議会活性化特別委員会 議会運営委員会 産業市民委員会	
		建設委員会 総務委員会 本会議（最終日）	
		1月	19日
	22日	議員協議会	
	31日	議会活性化特別委員会 克雪・危機管理・防災対策特別委員協議会	



乾杯のあいさつをする丸山勝総議長

1月4日 新年賀詞交換会を開催

毎年恒例の新年賀詞交換会がアオーレ長岡にて開催され、行政機関や各業界団体の約2,000人が参加し、和やかに新年のあいさつを交わしました。

トピックス 長岡青年会議所定時総会を議場で開催

11月1日に長岡青年会議所の定時総会が議場で開催されました。

議場には青年会議所メンバー約100人が参加し、午後7時から約2時間にわたり活発な議論が交わされていました。



定時総会の様子

